

4 専修学校（専門課程）

(1) 就職者総数は1,549人で、前年より101人減少している。そのうち県内に就職した者は1,062人で、前年より137人減少している。県内就職率は68.6%で、前年より4.1ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、商業実務、教育・社会福祉及び服飾・家政関係学科で90%を超える高い率になっている。

県外就職者は487人で、前年より36人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州255人（52.4%）、関東145人（29.8%）、近畿40人（8.2%）、中国21人（4.3%）の順となっている。

進学者総数は97人で、前年より23人増加している。県内進学率は37.1%で、前年より2.1ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況(専修学校〔専門課程〕)

(単位:人、%)

区 分	総 数											
	20年3月		19年3月		20年3月		19年3月		20年3月		19年3月	
	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月
卒業生総数	1,735	1,850	319	325	862	902	198	263	110	145		
就職者総数	1,549	1,650	310	308	800	826	171	231	106	123		
就職率	89.3	89.2	97.2	94.8	92.8	91.6	86.4	87.8	96.4	84.8		
うち県内就職者	1,062	1,199	173	196	536	566	134	203	103	115		
県内就職率	68.6	72.7	55.8	63.6	67.0	68.5	78.4	87.9	97.2	93.5		
進学者総数	97	74	3	3	26	22	1	2	1	10		
進学率	5.6	4.0	0.9	0.9	3.0	2.4	0.5	0.8	0.9	6.9		
うち県内進学者	36	29	2	1	14	11	1	-	-	8		
県内進学率	37.1	39.2	66.7	33.3	53.8	50.0	100.0	-	-	80.0		
一時的な仕事に就いた者	4	23	-	6	-	6	-	1	-	6		
一時的な仕事に就いた者の率	0.2	1.2	-	1.8	-	0.7	-	0.4	-	4.1		
うち県内居住者	-	21	-	5	-	5	-	1	-	6		
県内居住率	-	91.3	-	83.3	-	83.3	-	100.0	-	100.0		
その他総数	85	103	6	8	36	48	26	29	3	6		
その他の率	4.9	5.6	1.9	2.5	4.2	5.3	13.1	11.0	2.7	4.1		
うち県内居住者	58	81	6	7	19	31	23	28	3	6		
県内居住率	68.2	78.6	100.0	87.5	52.8	64.6	88.5	96.6	100.0	100.0		

つづき

区 分	商業実務						服飾・家政		文化・教養			
	20年3月		19年3月		20年3月		19年3月		20年3月		19年3月	
	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月	20年3月	19年3月
卒業生総数	64	86	44	39	138	90						
就職者総数	57	76	31	35	74	51						
就職率	89.1	88.4	70.5	89.7	53.6	56.7						
うち県内就職者	56	75	28	35	32	9						
県内就職率	98.2	98.7	90.3	100.0	43.2	17.6						
進学者総数	-	1	9	-	57	36						
進学率	-	1.2	20.5	-	41.3	40.0						
うち県内進学者	-	-	8	-	11	9						
県内進学率	-	-	88.9	-	19.3	25.0						
一時的な仕事に就いた者	-	-	4	4	-	-						
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	9.1	10.3	-	-						
うち県内居住者	-	-	-	4	-	-						
県内居住率	-	-	-	100.0	-	-						
その他総数	7	9	-	-	7	3						
その他の率	10.9	10.5	-	-	5.1	3.3						
うち県内居住者	7	9	-	-	-	-						
県内居住率	100.0	100.0	-	-	-	-						

(2) 就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が928人（59.9%）で最も多く、次いで複合サービス業165人（10.7%）、サービス業163人（10.5%）の順となっている。また、前年に比べそれぞれ2.3ポイント低下、10.0ポイント上昇、14.1ポイント低下となっている。

県内就職者を産業別で見ると、医療、福祉が647人（60.9%）で最も多く、次いでサービス業149人（14.0%）、複合サービス業65人（6.1%）の順となっている。また、前年に比べそれぞれ2.1ポイント低下、9.9ポイント低下、5.9ポイント上昇となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校[専門課程])

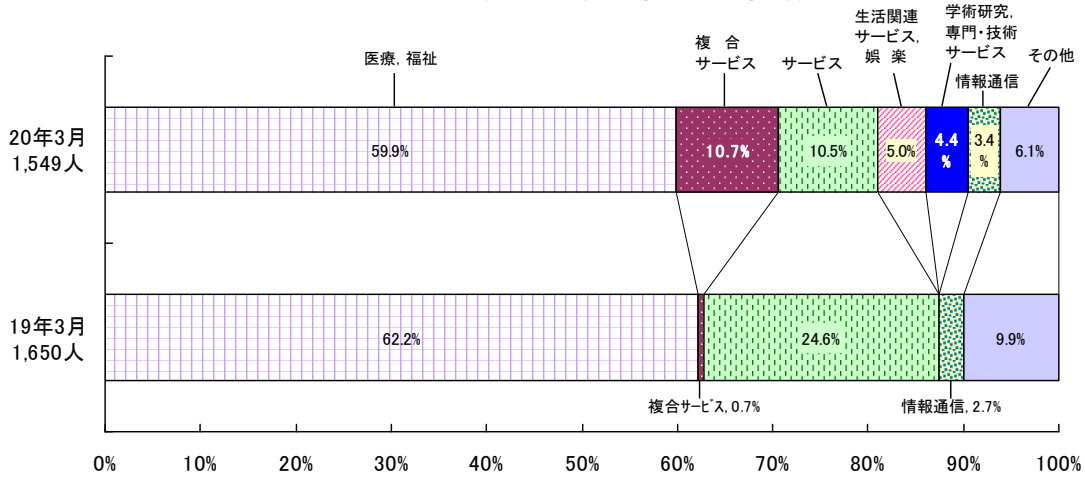
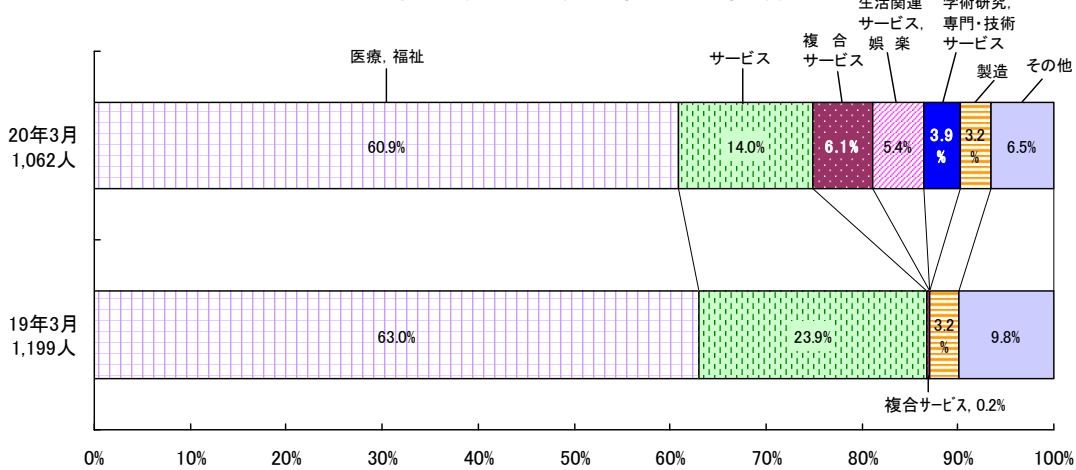


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校[専門課程])



注2) 平成19年11月に日本標準産業分類が改定されたことをうけ、「生活関連サービス業、娯楽業」及び「学術研究、専門・技術サービス業」を新設した。(図8、図9)